

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスびのぐる		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日	～	令和8年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)
			8人
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日	～	令和8年2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)
			7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもやご家族、学校等とのコミュニケーションを大切に、事業所とご家庭、学校等で連携して一人のお子さまの育ちを支援している。	送迎時に時間の許す限り、保護者の方や学校の先生とお子さまの様子についてお話するように職員一人一人が意識的に行っている。LINEでご利用者のご家族とつながっていることでお子さんの気になったことなどの共有をリアルタイムで細かく共有し、活動の様子などの写真をアルバム機能を用いてお伝えしている。	引き続き、利用者および保護者、学校等との関係構築。
2	アットホームな雰囲気心がけ、子どもの居場所づくりとしての機能も果たしている。	子どもの意思を尊重し、可能な限り子どもから出た意見を療育に反映させている。	今後、利用人数が増えていくことが予想されるので、アットホーム感は大事にしつつ、将来社会に出たときに困らないように最低限の集団行動も教えていき、メリハリを持った支援に取り組んでいく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもに提供できる療育に偏りがある。	職員によるプログラムの進め方のバラつきがある。療育を展開する際のツール(遊具など)が少ない。	職員一人一人の療育スキルの質の向上を図るとともに、療育の幅を広げるためのツールを充実させていく。
2	緊急時や、想定外のこと起きた際のマニュアルの整備が不十分。	マニュアル等の整備が不十分のため万一の緊急時に、責任者への指示待ちになることもあり、対応が遅れてしまうことが危険される。	マニュアルを整備し、職員全員が対応を統一する仕組みを作っていく。
3			